

令和4年3月1日

保護者様

一宮市立朝日西小学校運営協議会長 北川 敬治
一宮市立朝日西小学校校長 井上 綾見

「令和3年度学校評価アンケート」結果のお知らせ

日差しのうららかに春の足音を感じますが、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、2学期末に実施させていただきました学校評価アンケートの結果は、下記のとおりです。ご報告させていただきます。

記

1 保護者評価について（回収率：68.1%）

集計結果欄の数字は、「1：そう思う」「2：どちらかといえばそう思う」の合計の割合です。どの項目で、「1」+「2」が80%前後となり、おおむね目標が達成されていると考えます。保護者の皆様のご理解・ご協力のおかげで、全体的には肯定的な評価をいただいています。

なお、今回の結果につきまして、来年度の学校経営及び学級経営に生かし、教育活動の一層の充実を図ってまいりますとともに、数値の低い項目やいただいたご意見につきましては、分析検討を重ね、より向上できるよう努力してまいります。

項目	評価事項	集計結果 (%)	
		3年度	2年度
1	学校からの情報提供（プリント、携帯メール、ホームページなど）に満足している。	94	94
2	学習内容や進度、学校生活の様子、持ち物などが、たよりや連絡帳、懇談などでよくわかる。	88↓	94
3	学校は、保護者の声に耳を傾けるよう努めていると思う。	96	96
4	学校は、学習内容を確実に身につけるために努めていると思う。	95	98
5	学校は、いじめ問題行動をなくすように努めていると思う。	94	97
6	学校は、児童の安全確保・事故防止に努めていると思う。	95	97
7	学級担任は、お子さんのことを理解し、接していると思う。	92↓	99
8	学校の教職員は、礼儀正しく、親切な対応をしていると思う。	96	98
9	お子さんは、社会生活のルールやマナーを守って生活していると思う。	98	97
10	お子さんは、あいさつができていると思う。	83	81
11	お子さんには、思いやりの心が育っていると思う。	97	97
12	お子さんは、元気に学校へ通っていると思う。	99	99
13	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	91	95
14	お子さんは、家庭での学習習慣が身についていると思う。	77↓	84
15	保護者や地域の人たちが気軽に足を運べる学校だと思う。	94	97

(↑：5%以上増 前年と比較)

【項目1～8、15 信頼される学校】

○ 全ての項目において、肯定的な回答（「1」＋「2」）が90%前後となる高い評価をいただいています。

項目1、項目3は、昨年同様高い評価をいただきました。大きな行事の変更についてはプリント等で、緊急のお知らせについては、携帯メールを通じてお知らせしています。また、日常の児童の様子等については、ウェブサイトと通じてお示ししています。

また、本年度は、アンケートを配信メールからGoogleフォームに入っただき、アンケートを入力していただく形に変更しました。保護者の方にとって、昨年までの紙にペンでアンケートに回答し児童に持たせる手間を省きました。

△ しかし、項目2の「学習内容や進度、学校の生活の様子、持ち物などが、たよりや連絡帳、懇談などでよくわかる」や項目7の「学級担任はお子さんのことを理解し、接していると思う。」については、昨年度よりも5%以上減っていることが分かります。

特に項目2については、項目1の回答結果も併せて考えると、お知らせする内容に不十分な点があると考えます。お知らせする内容をより分かりやすい表現や正確な表現になるよう多くのものでチェックしてまいります。

また、項目7について、本年度は、職員の異動も多く、職員も児童もはじめての出会いの中で時間をかけて理解を深めながら学びあっている様子がうかがえます。今後も、児童一人一人の話にじっくり耳を傾け理解し個に応じた指導とともに、家庭との連携が図れるよう、十分な連絡をとっていきたいと考えます。

【項目9～14 「豊かな心」「確かな学力」「健やかなからだ」を育む教育活動】

○ 項目10、14をのぞいて、どの項目も肯定的な回答（「1」＋「2」）が90%を超える高い評価をいただいています。

特に項目11の縄跳び大会にむけての練習では、どの学級も児童は、学級の目標をたて、みんなで力を合わせて取り組むだけでなく、できる児童はできない児童に、跳び方を教え、優しく励ましたり、できたことを一緒に喜びあったりするなど、心温まる場面が多く見られました。

また項目13でも、昨年度からの対話による学習の深まりに着目し指導してきました。その結果、児童は学習したことを言葉でまとめて友達に伝えたり、友達から聞いたことを自分の学びとして取り入れたりする姿が見られました。

△ 項目10では、コロナ対策で大きな声は出しにくい状況の中、児童が、なかなかあいさつをする声や態度が見られないは現状です。しかし、その中で一部の児童は、自分からあいさつをしたり、会釈をしたりする姿も見られるようになってきました。今後も大人の側から声をかけ、自分から進んであいさつできる児童を増やしていきたいと考えます。

項目14の家庭での学習習慣の定着については肯定的評価が下がっており、職員も反省しています。

家庭学習の目的は、学校で学習したことの定着であり、学習したことを繰り返し練習することで、できなかったことができるようになり、分からなかったことが分かるようになることを児童に体験させていく必要があると考えます。今後も、適切に指導し、家庭と連携して、家庭学習の定着を図っていきたいと考えます。

【学校へのご意見等】

設問2の「学校からの情報提供（プリント、携帯Eメール、ウェブサイト）に満足している。」について、6名の保護者の方からご意見をいただきました。また、2名の保護者の方から、建設的なご意見、心配ごとや困りごとや、ご要望をいただきました。それらのご意見を真摯に受け止めまして、学校運営協議会をはじめ、関係各方面との協議を含め総合的に判断しながら今後に生かしていきたいと思ひます。